



浜松観光ボランティアガイドの会

県民の日記念ウォーク「田畑政治の足跡と浜松宿散策」



東照宮にて一般参加者と一緒に

街地にある神社の中で歴史が古く、和銅年間（約1300年前）の創建で、浜松の産土神として歴代の浜松城主が祈願所として帰依するようになったといわれています。次に、今はコンビニの駐車場に「田畑政治生家跡」の、双葉小学校前に田畑が通った「浜松南尋常小学校跡」の案内板がありました。当時の見る影はありません。街中に戻ると日曜日とあってソラモは野外イベントでにぎわっていました。The GATEに着くと大河ドラマ「いだてん」出演者の等身大パネルに迎えられ15分のフリータイム。貸自転車、大型鞆預かり等の窓口もあり、ガイド知識にインプットしました。ウォーキング後半は家康ゆかりの地を見て、浜松元城町東照宮へ向かいました。豊臣秀吉と徳川家康のブロンズ像がある東照宮は出世のパワースポットとして、浜松城への来場者にも人気があり、灯籠のハートマークはラブパワーとか。残暑ではありましたが、吹く風は秋の気配で気持ちの良い2時間になりました。健脚の皆さんは疲れもなく楽しんでくださったようです。

8月25日(日)午前9時より事業部主催で恒例の「県民の日記念ウォーク」が33名の一般参加者を迎えて実施されました。コースは以下の通りです。

浜松市営元城プール跡⇒大手門跡⇒高札場跡⇒本陣跡⇒松尾(まつのお)神社⇒田畑政治生家跡⇒浜松南尋常小学校跡(現双葉小学校)⇒浜松魅力発信館(The GATE)⇒秀忠誕生の井戸⇒松下之綱屋敷跡⇒日限(ひぎり)地蔵尊⇒浜松元城町東照宮。

集合場所の浜松城公園駐車場せせらぎの池前で受付を開始、最初のグループは7名の参加者が事業部齊藤博行さんのガイドで資料と団扇を手にスタートしました。

公園内のプール跡を見学後、大手門跡前の大通りを南進して元魚町の松尾神社に着きました。浜松市



「田畑政治生家跡」案内板前にて



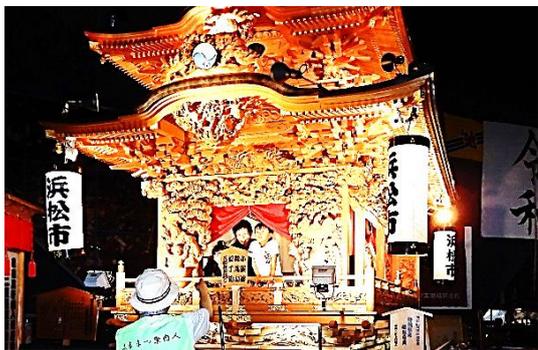
「いだてん」出演者の等身大パネル

浜松出身の田畑政治は水泳選手として活躍を期待されましたが、病気のため選手の道を断念するも、指導者の立場で日本水泳界を世界のトップレベルに引き上げ、1964年東京オリンピックの招致と開催を主導し、その後もスポーツ界の要職に就き85歳で逝去しました。

水泳とオリンピックに生涯をささげた「田畑政治展」が、浜松市立中央図書館2F展示コーナーで12月25日(水)まで開催されています。大河ドラマ主人公の生涯とその業績が紹介され、加えて当時の浜松の様子などもかきま見ることができ、大変興味深いものです。

浜松まつり会館フェスタ 2019

8月25日(日)遠州灘海浜公園にて、「浜松まつり会館フェスタ2019」「PLAY GROUND FES」そして「中田島ナイトフェスタ」の3グループによるフェスタがコラボ開催されました。イベントは15時～20時、来場者数は1,333人でまつり会館内、広場とも大層な賑わいでした。



「御殿屋台に乗ろう」体験の様子

屋台に乗り、鼓打ちを試し、写真撮影を楽しんでいました。大人のお客様方から浜松まつりの由来、大風の構造、御殿屋台の絢爛豪華さについて多くの質問を受けました。

PLAY GROUND FES では、ヨガ教室、かけっこ教室、ビーチフラッグ等、七つのイベントが企画されていました。かけっこ教室では、子供達は縄梯子を寝かせた区画を如何にリズム良く、速く走るかを教わっていました。事前の準備体操には保護者の方々も参加していましたが、膝の屈伸運動では日頃の運動不足を子供にたしなめられる保護者も散見されました。かけっこ教室の横に障害物競争用トンネルが2本置かれていましたが、これも子供達には人気がありました。トンネルに潜ったまま出てこない子供、引きずり出そうとする親、抵抗する子供、微笑ましい光景でした。



インストラクター(赤いシャツ)に指導を受ける子供達

中田島ナイトフェスタでは、移動動物園、吹奏楽演奏、野外シアター等のイベントが企画されていました。沼津カントリーファームの運営による移動動物園は子供達に人気のコーナーでした。今回の出展では爬虫類、小動物類の種類が豊富でした。爬虫類はアナコンダ、白蛇、イグアナ等。小動物類はウサギ、ネズミ類等。子供達は動物に餌を与えたり、動物との触れ合いを楽しんでいました。アナ



プレリードックに餌やり 白蛇のマフラー ハリネズミを抱っこ

アナコンダがプラスチック箱から出され、テーブルの上を這い廻るシーンは圧巻で、皆さんのシャッターチャンスでもありました。

江南吹奏楽クラブの皆さんが、30分間の演奏を2回ほど披露されました。演目はドラえもんメドレー、ドレミの歌等6曲ほどです。私は乱れの無い、メリハリの効いた良い演奏であったと感心しました。このクラブは30名のメンバーから成り、年代層は小学生からリタイヤ世代まで非常に幅広いことが特徴だそうです。中には子供を送迎しているうちに吹奏楽演奏に興味を持ち、現在、活躍しているお母さんもいらっしゃいました。今後の活躍を大いに期待します。

浜松観光ボランティアガイドの会からは7名の参加となりました。屋外は猛暑までには至らず、好天にも恵まれ、盛況でした。開催時間帯を昨年に対し大幅に遅らせた効果か、17時頃からは夕涼みを兼ね、イベントを楽しんで行くお客さんも多少増えました。



江南吹奏楽クラブの演奏

会員の交流広場

大河ドラマ「麒麟がくる」に期待

眼下に長良川、背後に遠く木曾川がゆったりと流れている。梅雨の晴れ間の7月20日(土)、金華山に登って来ました。ロープウェイを降りても、まだまだ続く山道、城門に着いてもまだ視界は開けない。

かつては稲葉山城とか井ノ口城と呼ばれていたこの岐阜城は安土城を模して造られ、天守最上階は「信長の間」と称されています。広がる濃尾平野、連なる山々にはやさしく陽が差し込み別世界です。戦国武将により奪い合いされたこの山は、自然の宝庫でもあり、群生しているツブラジイの春の芽吹きは全山を黄金色に染め上げ、金華山と呼ばれる由来になったそうです。

岐阜駅前のマントを羽織った黄金の信長像、この黄金色もツブラジイの金華山と重ねれば、この像の見方もまた変わってくるので不思議です。ふもとの岐阜公園では、来年のNHK大河ドラマ「麒麟がくる」のドラマ館設置アナウンスの幟があちこちに並び、公園整備も進んでいるようでした。ドラマ館はこちらの他、京都・恵那・可児にも設置され、知られざる明智光秀の生い立ちにも迫るようで興味深いところです。

1300年の歴史を持つ長良川鶴飼い、鶴匠の家、昔ながらの川原町、金華山ロープウェイは夜も営業とか。ふと見上げると金華山の上にちょこんとお城が乗っている。信長はあんな高い所に何故お城を築いたのか、天下統一の足掛かりとなったとされるあの「天空の間」にはどんな歴史絵巻が秘められているのか、来年の大河ドラマ「麒麟がくる」がとても楽しみにになりました。今回は2度目の登城、次回は是非金華山歩道を自分の足で登り、歴史を探ってみたいと思います。



岐阜城最上階にて

南ブロック 金原里枝

新入会員の入会動機

「浜松観光ボランティアガイドの会というのがあって、私も浜松の歴史は全然知らなかったけれど、自分の勉強にもなるし、歴史に興味があるなら、参加してみるととてもいいと思うわよ」と勧めてくださったのは、浜松国際ピアノコンクールのボランティアで知り合ったばかりの吉山さんでした。昨年3月、夫の中国赴任終了に伴い日本に帰国した後、私はこれから何をしようかといろいろ探していた時のことです。中国での生活では、多くの国の人々と出会い、一緒に中国語や中国文化を学ぶ中で、帰国後は日本を訪れる外国人に日本を紹介したり、日本語を教えたりすることができたら楽しいだろうな、と考えるようになりました。ところがいざ浜松を案内したいと考えたときに浜松の歴史についてほとんど知らないことに気がついたのです。吉山さんの一言でまさに新しい道が開けました。浜松観光に関する知識が身につけば、中国語を使って中国語圏の旅行者にもガイドができます。浜松について一つひとつ楽しみながら学び、その楽しさをお伝えできるように頑張りたいです。

日本史は、教員時代に中学社会で教えた歴史程度の知識しかありませんので、いろいろご教授お願いします。もし中国からのお客様がいらした場合は是非ともガイドをさせてください。最近外国人向けの日本語教師を始めました。

南ブロック 松沼素子

私は4年前に自然気胸という病気になり、1カ月ほど入院しました。その時に前々から気になっていた家康検定を受けてみたいと思い勉強を始めました。結果は見事「合格」。それまであまり興味がなかった歴史に面白みを感じ、姫街道検定にも挑戦し、益々、地元の歴史に興味をもちました。そんな時大河ドラマ「おんな城主直虎」が決まり、市ではボランティア募集があり、安易な気持ちで参加しようと思い電話してみると、今から大丈夫とのこと「参加決定」。それから直虎のことは何も知らなかったのですが、直虎の知識を身につけてガイドに参加しました。仲間のガイドに色々なことを教えていただき、観光客と井伊谷城に登ったり歴史以外にも地元の色々な話をしました。ガイドは週1回の参加でしたが、楽しい思い出が沢山でき、友達もできました。あっという間の1年間でした。

今年に入り「広報はままつ」のボランティアガイド募集をみて、電話してみると今ならOK「参加決定」。今年6月から農業が私の主生活になりました。野菜を作ることの楽しみが私の中で増えることになるでしょう。「何でもやってみる」が私の信条です。

北ブロック 中村茂秋

20周年記念事業情報

本年4月に三役及び竹山記念事業担当を中心にメンバー14名で20周年記念事業プロジェクトチームを発足しました。現在、記念事業として「記念式典」を本年11月25日(月)10:30～13:30にホテルコンコルド浜松にて開催予定です。「記念誌」は掲載内容がほぼ決まり、20年間の活動記録のまとめや現会員の情報等の作成作業を行っています。記念誌の発行は年内を目標としています。

ラグビーワールドカップ

9月20日(金)から「ラグビーワールドカップ2019日本大会」が開幕します。袋井市のエコパスタジアムにて開催される試合に当会会員9名が大会ボランティアに参加します。

☆エコパスタジアムの試合予定☆

- 9月28日(土) 16:15～ 日本 vs アイルランド
- 10月4日(金) 18:45～ 南アフリカ vs イタリア
- 10月9日(水) 16:15～ スコットランド vs ロシア
- 10月11日(金) 19:15～ オーストラリア vs ジョージア

☆ファンゾーン☆

試合観戦と交流スペース「ファンゾーン」がギャラリーモール・ソラモと遠鉄ホールに設けられます。エコパの試合及び日本戦、準決勝、決勝の日に大型画面で試合観戦でき、出場国のグルメやラグビーの体験も楽しめます。



優勝トロフィー

～訂正とおわび～

会報8月号に誤りがありましたので訂正しておわびいたします。

1頁記事上から1行目

誤：6月18日

正：7月18日

8月のガイド活動 《明るく楽しくやらまいか》

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。また、この3箇所他に「浜松市観光インフォメーションセンター」や「家康の散歩道」同行ガイド、各種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

《浜松城》

1日	木	同行ガイド	水谷晴喜	2名	24日	土	株式会社信越リード	36名
2日	金	JTBメディアリテリング		34名	25日	日	県民の日記念ウォーク	33名
9日	金	リーフ音楽療法		15名	27日	火	阪急交通社	18名
16日	金	ヨーロッパ文化研究サロン		9名	31日	土	大野市主事会	9名
18日	日	クラブツーリズム	歴史への旅	19名			阪急交通社	22名
21日	水	浜松市インターン研修		4名				
23日	金	山梨文化学園		32名				
		JTBメディアリテリング		41名				
24日	土	厚木税理士会		36名				

《浜松まつり会館》

25日	日	浜松まつり会館フェスタ	1,333名
*		日曜対応(4、11、18日)	424名

はままつ案内人会報 210号

編集・発行 浜松観光ボランティアガイドの会

〒430-0946

浜松市中区元城町100-2 (浜松城内)

TEL & FAX 053-456-1303

メールアドレス mail@hama-svg.jp

ホームページ http://www.hama-svg.jp/



出生大名 家康くん

出生法明 直虎ちゃん

はままつ案内人

検索